



舗装切削後引き渡し、①既設目地材を撤去し、施工箇所の不陸修正を行う②プライマーを塗布する③材料を攪拌する（機材等不要）④材料を遊間に充填する⑤メッシュシートを貼り付ける⑥床版全体にプライマーを塗布する⑦常温塗縮防水材を床版全面に塗布する⑧橋面防水と伸縮装置を一体化させる⑨橋梁上部全面へ材料塗布装置を一括り渡し後、全面舗設へ完了。

一方でこの急伸は、小規模橋梁をいかに補修していくかが全国規模で喫緊の課題となっている。そこでこの急伸は、小規模橋梁をいかに補修し、工法を採用いただけるよう、工法の充実をばかりいきたいと考えています。

国土交通省は、2019年8月に「平成30年度道路メンテナンス年報」を発表しました。年報に定期点検の1巡目の結果として、多くの橋梁でAOS工法を採用いただけます。当社では、引き続きAOS工法の普及に注力する方針です。

小規模インフラメンテナンス事業を展開するリノブリッジが注力する、橋長20m以下の小規模橋梁の橋面防水と伸縮装置を一度で施工する「伸縮装置および床版防水の一體化工法・AOS工法（NETIS登録番号C-B-170021）」の累計施工実施が、半年で倍増、2019年度末で101橋梁となり、18年度度まで広がっています。

9年度末で101橋梁となつた。2019年9月30日時点での工法発表からわずか2年7ヶ月で累計施工実施件数が50橋を超えていたが、その後の半年間ではさらに増勢し、19年度の施工橋梁数は63橋梁となり、18年度度まで広がっています。この24橋梁から前年比26%の伸びとなった。19年度末出荷分までの都道府県別施工実績も26県にまで広がっています。

実績が急伸している背景には、AOS工法が小規模橋梁に特化したコンパクトな工法にまとめられていることにある。具

体的には、これまで個別に構成されていた橋面防水と伸縮装置を一体的に構成された橋面防水

として施工を簡便にしたこ

とや、従来工法と同等水準の品質を保持しながら

15%以上のコスト低減を実現することなどが支持されています。小規模橋梁においては、桁端部の止水を従来工法の伸縮装置

によって、短工期で施工できる

ばかり、現場作業の安全性の課題があつた。

AOS工法は個別に構成されていました。橋面防水と桁端部の防水を、一的な止水層で構成する止水構造にする工法。道路橋床版防水、埋設型伸縮装置それぞれの性能照査試験に準拠し、小規模橋梁に適した伸縮性・止水性・耐久性を満たしています。既存の橋台ピアスフルト舗装などの間に独自の防水材を設置したり、舗装に上塗りしたりすることで橋梁の防水性を高める。独自の防水材は加熱せずに施工できるため、加熱が必要な従来

工法と比較して低コスト

ボーバースペックになるなど

ほか、現場作業の安全性の課題があつた。



桁下から炭素繊維シートを装着する



竹内祥一社長

深い知識、高い技能、豊富な経験が不可欠

東海シーエス工事は、5月1日にエバーストラクション株式会社に社名変更した。拠点の清須市の本社などの移転はない。同社は橋やトンネルの土木構造物をはじめ、建築物なども含むあらゆるコンクリート構造物・鋼構造物の長寿命化を主業にしてきた会社で、創業は平成3年。今般、東海シーエス工事からエバーストラクションに社名を変更した同社の竹内祥一社長に聞く。

——今般、社名を変更されました。

竹内社長 このたびの社名変更は私のなかでは新会社設立と同じ意味を持つています。

——私の立志は25年前、当身当時から確信していま

時の建設業界は本当に異

ました。そのためには建設

業界であらゆる経験を積

め、建築物なども含むあ

る全ての土木構造物をはじ

め、建築物なども含むあ